

2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月7日

上場会社名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング 上場取引所 東
 コード番号 2418 URL <https://www.tsukada-global.holdings>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚田正之
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 山崎誠広 (TEL) 03-5464-0081
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	43,754	3.4	3,494	86.7	3,321	64.8	2,077	70.4
2018年12月期第3四半期	42,330	6.3	1,872	39.0	2,015	39.4	1,218	105.0

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 1,620百万円(102.1%) 2018年12月期第3四半期 802百万円(97.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	43.55	—
2018年12月期第3四半期	25.55	25.27

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	95,154	36,722	38.6
2018年12月期	90,841	37,081	39.1

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 36,722百万円 2018年12月期 35,548百万円

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期の連結財政状態については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2019年12月期	—	5.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	4.7	5,500	4.8	5,560	5.8	3,100	27.9	64.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社ベストライフスタイル、除外 1社(社名) BT KALAKAUA, LLC

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期3Q	48,960,000株	2018年12月期	48,960,000株
-------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年12月期3Q	1,259,834株	2018年12月期	1,259,834株
-------------	------------	-----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年12月期3Q	47,700,166株	2018年12月期3Q	47,700,166株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
(施行及び受注の状況)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性や通商問題が不透明な中、国内においては雇用情勢及び企業収益の改善や個人消費の持ち直しなど、概ね緩やかな回復基調で推移いたしましたが、消費税率引き上げに伴う消費者マインドの動向など先行きについては不透明な状況となりました。

このような環境の中、当社グループはブライダル市場、ホテル市場並びにウェルネス&リラクゼーション(W&R)市場における新たな価値の創造、高品質かつ魅力あふれる店舗づくりと付加価値の高いサービスの提供に取り組み、個性化・多様化するお客様のニーズに的確に対応することで、売上高の拡大と収益性の向上に努めてまいりました。

当四半期のホテル事業においては、東京オリンピック・パラリンピック開催を来年に控え、「キンプトン新宿 ホテル」(仮称)(東京都新宿区)の開業準備、「ストリングスホテル東京インターコンチネンタル」(東京都品川区)の大規模改修に着手、また、「ストリングスホテル 八事 NAGOYA」(愛知県名古屋市中区)の改装及びブランドの実施など新たな価値創造、更なるホスピタリティ・クオリティの向上に注力いたしました。

婚礼事業においては、当社グループの婚礼事業における主力商品である写真・映像・装花・音響等ウェディングコンテンツの内製化の拡充、また、当該コンテンツの外販事業を推進するなど今後の収益・事業エリアの拡大を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は43,754百万円(前年同四半期比3.4%増)と増収となり、利益面につきましては、営業利益3,494百万円(同86.7%増)、経常利益3,321百万円(同64.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,077百万円(同70.4%増)といずれも大きく増加させることとなりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 婚礼事業

当第3四半期連結累計期間においては、主力である国内婚礼において施行組数が増加したこと、また、施行単価が堅調に推移したこと等により婚礼事業売上高は増加しました。利益面につきましては、主に婚礼に係る各商材(主に写真・映像・装花等)の内製化を推進したことによりセグメント利益は増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は28,137百万円(前年同四半期比6.6%増)、セグメント利益は4,801百万円(同56.4%増)となりました。

② ホテル事業

当第3四半期連結累計期間においては、宿泊部門において稼働率・単価が堅調に推移しましたが、ホテル婚礼の施行組数が減少したこと及び大規模改装に伴う販売可能客室数の減少により、ホテル事業売上高は減少しました。利益面につきましては、「キンプトン新宿 ホテル」(仮称)の開業準備費用の発生及び売上高減少の影響によりセグメント利益は減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は12,598百万円(前年同四半期比3.2%減)、セグメント利益は77百万円(同75.8%減)となりました。

③ W&R事業

当第3四半期連結累計期間においては、昨年12月に開業した総合フィットネスクラブ「BEST STYLE FITNESS 海浜幕張」が通期稼働したことによりW&R売上高は増加しましたが、利益面においては総合フィットネスクラブの一部の店舗において会員取り込みが遅れていること等により損失となりました。

この結果、当セグメントの売上高は3,018百万円(前年同四半期比3.9%増)、セグメント損失は127百万円(前年同四半期はセグメント損失276百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ4,312百万円増加して、95,154百万円となりました。これは主に、連結子会社であったBT KALAKAUA, LLC株式の一部売却に伴う持分減少により連結子会社から除外された結果、建物及び構築物が3,472百万円、土地が5,266百万円減少した一方、「キンプトン新宿 ホテル」(仮称)の建設工事等により建設仮勘定が7,863百万円、余資運用等により投資有価証券が3,288百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ4,672百万円増加して、58,431百万円となりました。これは主に、納税により未払法人税等が1,099百万円及び長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)が1,080百万円減少しましたが、「キンプトン新宿 ホテル」(仮称)の建設工事等に係る未払金の増加等により流動負債のその他が4,923百万円及び婚礼に係る前受金が971百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産総額は、前連結会計年度末に比べ359百万円減少して、36,722百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が1,600百万円増加しましたが、連結子会社から除外されたことにより非支配株主持分が1,533百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度(2019年12月期)の業績予想につきましては、2019年8月8日付け第2四半期決算短信にて公表いたしました数値に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,206	25,377
売掛金	1,281	1,133
有価証券	289	2,498
商品	127	115
原材料及び貯蔵品	490	505
その他	1,136	1,376
貸倒引当金	△24	△23
流動資産合計	27,506	30,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,361	21,888
土地	15,553	10,287
建設仮勘定	1,972	9,835
その他(純額)	1,723	1,501
有形固定資産合計	44,610	43,512
無形固定資産		
のれん	1,738	1,542
その他	184	190
無形固定資産合計	1,922	1,732
投資その他の資産		
投資有価証券	2,557	5,845
敷金及び保証金	8,152	8,032
その他	6,138	5,108
貸倒引当金	△206	△211
投資その他の資産合計	16,641	18,775
固定資産合計	63,174	64,020
繰延資産	160	150
資産合計	90,841	95,154

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,437	2,434
短期借入金	—	510
1年内返済予定の長期借入金	3,172	4,494
1年内償還予定の社債	590	609
未払法人税等	1,313	213
前受金	1,884	2,855
その他	4,381	9,305
流動負債合計	13,778	20,422
固定負債		
社債	3,125	3,800
長期借入金	32,614	30,212
退職給付に係る負債	302	313
役員退職慰労引当金	784	820
資産除去債務	2,391	2,408
その他	762	453
固定負債合計	39,981	38,008
負債合計	53,759	58,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	472	472
資本剰余金	634	634
利益剰余金	35,849	37,449
自己株式	△892	△892
株主資本合計	36,063	37,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△142	△146
繰延ヘッジ損益	△249	△544
為替換算調整勘定	△118	△243
退職給付に係る調整累計額	△4	△5
その他の包括利益累計額合計	△514	△940
非支配株主持分	1,533	—
純資産合計	37,081	36,722
負債純資産合計	90,841	95,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	42,330	43,754
売上原価	29,646	29,220
売上総利益	12,683	14,534
販売費及び一般管理費	10,811	11,039
営業利益	1,872	3,494
営業外収益		
受取利息	22	58
受取配当金	8	0
匿名組合投資利益	150	153
不動産賃貸収入	168	183
為替差益	7	—
その他	65	120
営業外収益合計	423	515
営業外費用		
支払利息	165	336
不動産賃貸費用	75	156
その他	38	196
営業外費用合計	280	689
経常利益	2,015	3,321
特別利益		
固定資産売却益	492	23
子会社株式売却益	—	207
その他	1	—
特別利益合計	493	230
特別損失		
固定資産除却損	40	6
店舗閉鎖損失	65	71
減損損失	180	19
その他	8	16
特別損失合計	294	113
税金等調整前四半期純利益	2,214	3,438
法人税等	975	1,391
四半期純利益	1,239	2,046
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	20	△30
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,218	2,077

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,239	2,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51	△4
繰延ヘッジ損益	△109	△295
為替換算調整勘定	△276	△95
退職給付に係る調整額	0	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△29
その他の包括利益合計	△436	△425
四半期包括利益	802	1,620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	775	1,651
非支配株主に係る四半期包括利益	26	△30

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、株式会社ベストライフスタイルを新規設立したことに伴い、連結の範囲に含めております。

また、BT KALAKAUA, LLCにつきましては、保有株式の一部売却に伴い、第2四半期連結会計期間末より、連結の範囲から除外し、持分法適用関連会社としております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,405	13,019	2,905	42,330	—	42,330
セグメント間の 内部売上高又は振替高	973	241	0	1,215	△1,215	—
計	27,378	13,260	2,906	43,545	△1,215	42,330
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,069	319	△276	3,112	△1,239	1,872

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,239百万円には、セグメント間取引消去79百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,318百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「婚礼事業」セグメントの一部の固定資産において収益性が低下した状態が続いており、当第3四半期連結累計期間において投資の回収が見込めないと判断したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額180百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	婚礼事業	ホテル事業	W&R事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,137	12,598	3,018	43,754	—	43,754
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,112	242	11	1,366	△1,366	—
計	29,250	12,841	3,029	45,121	△1,366	43,754
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,801	77	△127	4,751	△1,256	3,494

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△1,256百万円には、セグメント間取引消去97百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,353百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「W&R事業」セグメントの一部の固定資産において収益性が低下した状態が続いており、当第3四半期連結累計期間において投資の回収が見込めないと判断したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額19百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

3. 補足情報

(施行及び受注の状況)

(1) 婚礼施行実績

期別	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)
セグメントの名称	施行件数 (件)	施行件数 (件)	施行件数 (件)
婚礼事業	9,086	8,923	12,806
ホテル事業	1,194	1,139	1,712
合計	10,280	10,062	14,518

(2) 婚礼受注状況

期別	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)		前連結会計年度 (自 2018年1月1日 至 2018年12月31日)	
	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)	受注件数 (件)	受注残高件数 (件)
セグメントの名称						
婚礼事業	10,287	8,150	9,373	7,569	12,976	7,119
ホテル事業	1,427	1,349	1,210	1,250	1,775	1,179
合計	11,714	9,499	10,583	8,819	14,751	8,298